

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	965	スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業	会計	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
			項	01	教育総務費
			目	03	義務教育振興費
担当部課名	教育部 学校教育課		細目	102	児童生徒指導経費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	細々目	07	スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業
		22 - 9676			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	不登校児童生徒及びその担任と保護者	不登校児童生徒の支援において、学校・家庭・関係機関が機密に連携した地域ぐるみのサポートネットワークが整備されます。		
本年度事業内容	1. 児童生徒及びその保護者との教育相談活動 2. 不登校児童生徒に対する適応指導活動 3. 不登校の実態把握 4. 教育相談にかかわる教職員の研修活動 5. 不登校児童生徒の家庭への訪問指導			
開始年度	平成 15 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.125	0.25	0.25
	人件費合計(A)	900	1,800	1,800
支出内訳(千円)	事業費(B)	1,050	1,050	1,050
	委託料			
	報償費	568	570	570
	その他	482	480	480
合計(A+B)		1,950	2,850	2,850
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	1,050	1,050	1,050
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	900	1,800	1,800	
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
通級児童生徒の学校復帰率	%	100	100	100			
教育相談回数	回	680	650	630			
研修会開催回数	回	23	25	25			
不登校実態調査回数	回	4	4	4			
訪問指導回数	回	362	350	320			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
不登校を訴えた児童生徒が学校復帰できた割合	教育相談や適応指導によって、不登校の症状を解消して、学校へ再登校することや進学が実現する等、児童生徒が自立できるようにどれだけ支援できたかが指標となります。	%	100 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>不登校児童生徒の早期発見、早期対応をはじめ、より一層きめ細かな支援を行うため、教職員や適応指導教室指導員の研修や家庭への訪問活動など、ふれあい教室を中心としたネットワークがつけられています。さらに、ネットワークが機能し、「ひきこもり」の状況にある子どもたちの支援体制を整えていきたいと思ひます。</p>
--

評価	必要性	4	ふれあい教室の活動がより充実するとともに、不登校支援が地域ぐるみの体制となるよう調査研究をさらに進めていきたいと思ひます。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		